

製品名: リン酸化 Smad2 (Ser250) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00704

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD2 SMAD2; MADH2; MADR2; Mothers against decapentaplegic homolog 2; MAD homolog 2;
別名	Mothers against DPP homolog 2; JV18-1; Mad-related protein 2; hMAD-2; SMAD family member 2; SMAD 2; Smad2; hSMAD2
遺伝子 ID	4087
SwissProt ID	Q15796
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

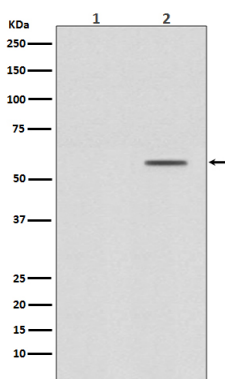
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエの遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫の遺伝子 Sma の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) アルカリホスファターゼ溶解物で処理した HeLa 細胞における Phospho-Smad2 (S250) のウエスタンブロット分析、(2) Phospho-Smad2 (Ser250) 抗体を使用した HeLa 細胞溶解物。